2026年
第１号
7月1日発行

うみとみらい通信
ー九十九里沖でのCCS調査作業の状況についてー

首都圏CCS株式会社

■創刊にあたってのごあいさつ

首都圏CCS株式会社　代表取締役　屋　義昭

みなさま、本通信をご覧いただき、誠にありがとうございます。

首都圏CCS株式会社と申します。

当社は、将来の脱炭素社会の実現に向けて㈱INPEXと関東天然瓦斯開発㈱が、共同で設立した会社です。現在千葉県九十九里沖において、二酸化炭素を地中の深い層に閉じ込める地下貯留の実現可能性を調査しています。

このたび国の許可を得て、調査の一つとして、海上で井戸を掘る「評価井掘削作業」を実施することとなりました。実際の地層の状態を詳しく調べ、二酸化炭素を安全に貯留できるかを確認することを目的としています。作業にあたっては、安全の確保を最優先とし、地域のみなさまの生活や周辺環境への影響を最小限に抑えるよう、十分に配慮しながら進めてまいります。

また、作業の状況を分かりやすくお伝えし、みなさまのご理解をいただきながら進めていくことを大切に考え、このたび「うみとみらい通信」を発行いたしました。この「うみとみらい通信」を定期的にお送りし、ご不安やご心配に対してわかりやすくご説明し、みなさまのお声を大切に受け止めてまいりたいと思っております。

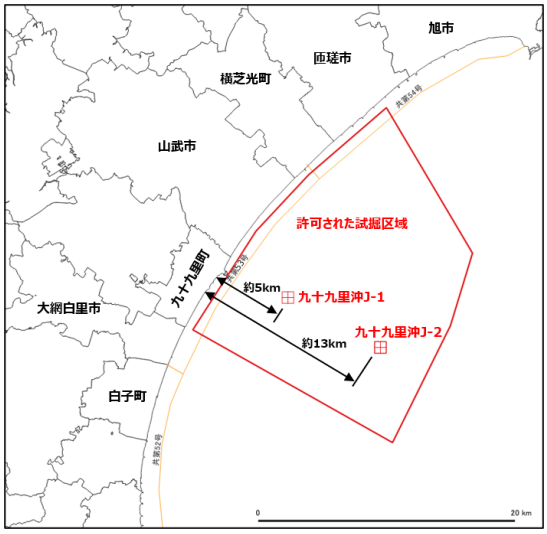
どうぞよろしくお願いいたします。

＊CCSとは、二酸化炭素の分離回収・貯留技術（Carbon dioxide Capture and Storage）のことです。大気中の二酸化炭素を地中深くに閉じ込め、地球温暖化対策に有効な技術といわれています。

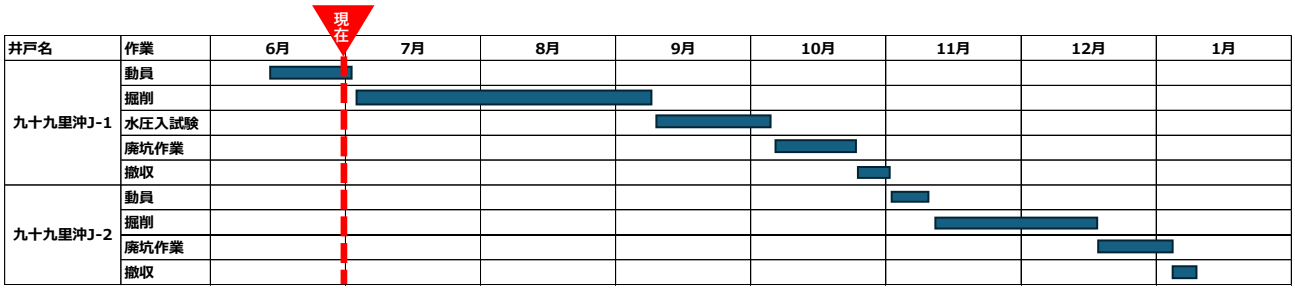
■掘削作業の概要

千葉県九十九里沖において、二酸化炭素を安全に地中へ貯留できるかどうかを確認するため、評価井（九十九里沖J-1およびJ-2）の掘削を行います。評価井とは、地下の地層の状態を詳しく調べるための調査用の井戸であり、海の下の地層の広がりや性質（二酸化炭素を貯めやすいか、外に広がりにくいかなど）を確認することを目的としています。

今回の掘削では、九十九里沖のそれぞれ異なる場所に2本の井戸を掘り、地下の状況を比較しながら調べていきます。これにより、将来の地下貯留の可能性について検討するための基礎的なデータを集めてまいります。



■掘削作業スケジュール



発行：首都圏CCS株式会社　社会共生ユニット
住所：千葉県千葉市中央区問屋町1-35
お問い合わせ：
https://mccs.inpex.co.jp/contact/form.php

■うみとみらい　CCSコミュニケーションセンター開設

　このたび当社では、地域のみなさまへの情報発信および対話の場として、コミュニケーションセンター「うみとみらい」を開設いたしました。

　本施設は、地域と環境を結び、未来へつなぐ拠点として誕生しました。

　「うみとみらい」という名称には、美しい九十九里の海で、カーボンニュートラル社会の実現を考え、次世代へと引き継いでいくという想いを込めています。

　CCSをはじめとした、カーボンニュートラル社会に向けた取り組みを、地域のみなさまと共に考える、その出発点となる場所です。

　本センターでは、首都圏CCSの取り組みや安全対策等について、分かりやすくご紹介するとともに、地域のみなさまとの双方向のコミュニケーションの場として活用してまいります。

　お近くにお越しの際には、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

住所：〒283-0102 千葉県山武郡九十九里町小関2347-98地先　（海の駅 九十九里 第二駐車場横）
開館時間：10時～16時　休館日：火曜日、水曜日、年末年始

■評価井掘削作業の安全祈願祭ならびに「うみとみらい」開所式

　6月15日に、評価井掘削作業の安全を祈願するための安全祈願祭を執り行いました。

　当日は、九十九里片貝皇産霊神社の内山宮司により神事が行われ、掘削作業が無事故・無災害で進められるよう、関係者一同で安全を祈願するとともに、安全を最優先に取り組む決意を新たにいたしました。安全祈願祭後には、来賓の方々には、「うみとみらい」において展示パネルや掘削リグ模型を前に掘削作業の手順などをご覧いただきました。

　今後の掘削作業におきましても、引き続き安全を最優先に、関係法令を遵守しながら、地域のみなさまの生活や周辺環境に十分配慮して進めてまいります。

発行：首都圏CCS株式会社　社会共生ユニット
住所：千葉県千葉市中央区問屋町1-35
お問い合わせ：
https://mccs.inpex.co.jp/contact/form.php